



会長 浅岡 康雄
副会長 宮台 均
幹事 関 敏幸
副幹事 市川 雅史
会長エクト 加藤 伸一

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 オークラフロンティアホテル海老名
海老名市中央2-9-50 TEL046(235)4411
事務局 海老名プライムタワー10階
海老名市中央2-9-50 TEL046(233)5122
編集 飯島 博之 小島 美智子 長浦 文夫
長本 享一

第567回例会

2007年(平成19年)10月18日

会長 挨拶



涼しくなってきましたが、寒くなると早く夏がこないかなと人間は勝手な事を言います。自分だけ良ければいいと思う人が増える中、「他人の為に良くしてあげれば自分に返ってくる」と、それを感じる年齢になってきました。

幹事 報告



ゲスト・ビジター紹介

高橋秀樹君
(秦野名水 RC)



オラガマケ・チャンディマ君
(スリランカ)



567回例会 出席報告

《ガバナー事務所からのお知らせ》

- ★ ガバナー月信 2007.10.1 No.4 が届きました。
- ★ 神奈川県薬務課よりの問い合わせがありました。
(-平成19年麻薬・覚せい剤乱用防止運動の実施について-)

《例会変更のお知らせ》

- 厚木県央 RC 10/26 (金) 16:20 点鐘
チャーターナイト記念例会 屋形船クルーズ
- 大和中 RC 10/25 (木) 12:30 点鐘 米山梅吉記念館見学
11/15 (木) 12:30 点鐘 工場見学
(日産追浜工場見学)
- 11/29 (木) 18:30 点鐘 夜間例会
- 相模原東 RC 11/5 (月) 12:30 点鐘
レストラン「メルシー・ポクー」
11/19 (月) →11/18 (日) 8:30 点鐘
市立田名小学校体育館

《週報受理》

相模原 RC・相模原グリーン RC・相模原東 RC・相模原大野 RC・大和中 RC

《(財)ロータリー米山記念奨学会より》

「米山学友の消息を尋ねる運動にご協力ください!」との依頼がありました。

期限: 11月30日(金) 必着

調査法方: 「米山学友情報」用紙に記入

回答方法: FAX回答「03-3578-8281」

《薬物クリーンかながわ推進会議より》

平成19年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動の実施についての依頼がありました。

会員数	出席計算 会員数	出席	出席率	565回 修正出席率
32名	32名	22名	68.75%	93.75%

メイク アップ
座間 RC 太田会員、井上会員、森口会員
相模原柴胡 RC 横手会員

卓 話



第2780地区 米山奨学委員会 委員長
高橋 秀樹君 (秦野名水 RC)

多くのロータリアンが米山奨学金制度の素晴らしさ、凄さに気付いていないようです。経済的支援はもとより、心の成長にまで力を入れた奨学金制度は、私の知る限り、世界に類を見ません。彼らはロータリーと云う独特な環境と境遇の中で心豊かな親善大使として、寛容な大きな心に育ちます。

日本古来よりの武道である剣道では、勝利したときにガッツポーズをすると、その勝ちを取り消されると云う規則があります。これは負けた人の気持を考えるからです。慮る心、日本人ならではの細やかな心遣い、優しさで見返りを求めない真の奉仕を、ロータリーから学び、世界の平和に貢献できる人格に成長していきます。

この米山奨学金制度は、1952年に東京ロータリークラブが日本のロータリーの父、米山梅吉氏の功績を記念して奨学事業を立案、5年後の1957年には国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され全国組織となりました。日本のロータリークラブと米山記念奨学会とは、50年前、すでに切っても切れない関係ができていた事を、我々後続のロータリアンは理解、認識しなければなりません。又私たちは後世にこれを正しく伝える努めもあります。

現在、米山奨学金を受けて世界で活躍する学友は13,000人を数え、世界平和に貢献しています。また台湾と韓国に一つずつ学友が中心となってできたロータリークラブがあります。いかに彼らが奨学生時代にロータリーが好きになったかが十分うかがえます。つまりロータリーの中で育つ人格が、両国の懸け橋となっている現実があります。奨学生たちは、まずロータリーから安心を貰った事に大変な感謝をしています。これはカウンセラー制度が、彼らの一番欲しいところを十分満している訳です。また彼らは、ロータリーの行事に参加、出席することで、ロータリーという独特の空気の中で心が大きく育ちます。彼らの育つ畑ともいえるロータリーそのものが、ロータリーらしくないと、彼らの心が育ちません。今こそロータリーの特徴、価値、魅力をしっかり再認識していくときなのかもしれません。世界に類をみない奨学金制度は日本のロータリーの誇りです。



米山 奨学生
チャンディマ・ニマルシリ (スリランカ)

スリランカから来ましたチャンディマ・ニマルシリと申します。もう日本に来て5年目になります。日本についていろいろな話をきいていましたが、ぜんぜん日本に来るつもりはありませんでした。高校卒業後に英語を習うために学校を探し回っていましたがそのかわりに日本語を習うことになりました。とうとう2003年4月に日本へ来ることになりました。この来ることによって私の人生が変わるとは全然思っていませんでした。そこまで楽しく生活していた私は日本に留学することが大変だとは思いませんでした。家にいるときはお母さんが、ご飯を作ったり、洗濯をしたりしてくれたから楽な生活をおくっていました。でも日本に来てお母さんがやってくれたことを全部私がやるなんてとてもつらかったです。家族の誰もいないところで生活することになった日から、いろんなことを一人でやるようになりました。

成田空港から静岡県まで行く道の景色がとてもきれいでした。普通電車で富士宮というきれいな町まで来るのに思ったより時間がかかりました。富士宮に着くときにはまわりは暗くなっていて富士山も見えない状態でした。富士山の美しさを見ながら日本語を勉強することになりましたがその美しさを説明するのに私の日本語の知識は足りませんでした。

そこからだんだん日本語を勉強することは生活の中で当然でした。日本人とコミュニケーションするために必要だとは思っていましたがなかなか周りの人の会話についていくことは出来ませんでした。最初は買い物するのに一人でスーパーに行くのは大変でしたが時間がたつとなれてしまいました。日本に来てもできるだけスリランカの料理を作るようにしていました。今でも日本の料理は作ることはできないけれど、いつか作れるようになりたいとも思います。なぜかという日本のお食事で日本人は元気に生きているのを見てびっくりしました。年をとっても若者みたいにとても元気に仕事をやっている姿をすばらしい事だと思えます。だからこそ日本は世界中で経済的にもっとも成功しているのでしょう。

日本人は自分の仕事を家族より優先しているのを見てびっくりした時もあります。この前住んでいたところにいたおじさんが言った言葉を時々思い出します。

「私は人生で一度も自分の遊びのために仕事を休んだことがない」と言われました。そのような昔の人たちが頑張ったからこそ今日のすばらしい日本ができていると私は思います。

日本でいろいろきれいなところへ行ってみたいけれど、まだまだ時間が作れないのは残念です。日本に来て5ヶ月たったところで富士山に登るチャンスがありました。その時私は富士宮で日本語の学校に通っていました。焼きそばで有名な富士宮ではどこに行っても富士山の美しさは消えません。思っていたより富士山に登るのは大変だった。夜9時ごろから登り始めた私たちは深夜2:30ごろ富士山の上に着きました。休み時間も少なめに、早めに富士山の上に登ってどんなものがあるか見たくて気になっていました。上に着いた時は日本人が10人くらいいました。その人たちはしっかり服を着ていて、シートをひいて寝ていました。そろそろ時間がたっていくにしたがって、マイナス4度くらいの寒さを感じてきました。一年中ずっと暖かい国で育ってきた私はマイナス4度なんて北極に行ったように感じました。何のために富士山に登ったのか分からなくなりました。私の人生ではじめてタバコを一本口にしたのは体を温めると思っていたのでした。でもリュックサックの中に入っていたマッチもぬれてしまっていました。その夜はいままで的人生の中で最悪な日でした。陽があたるまで、2時間もかかりました。やっとまわりがあたたくなくなってきました。その時撮った写真はまた大切にしております。こんな事を言うと日本人は怒るかもしれないけど、もし富士山が300年ぶりに噴火したらこの写真は記念の写真になるはずですよ。でも私もそうならないようにいつも祈ってます。なぜかという、私がここまで来るのに、むこうに住んでいたほとんどの日本人たちは手伝ってくれたからです。今でも時間があつたら富士宮に遊びに行く事は忘れません。行くとおなかがいっぱいになるまでご飯をご馳走になるのは間違いない。

大学を卒業するまで後1年半まで迫ってきました。就職活動や卒業論文などでこれからとても忙しくなると間違いない。私は大学で専門としては電気回路を作っています。その一つの作品として自動運転できる電車を作りました。この教材を作成するに当たってポイントレール用制御基盤を作りました。このポイントレールを動作させるには大きな電流を流す必要があります、モータドライバ用のICを利用したオリジナル駆動回路の作成成功しています。パソコンは指示を与え、自動的に動かせるよう、プログラムを作りました。このプログラムを組むためには「LabView」というソフトを利用しました。「LabView」はグラフィック型言語によるプログラムソフトで世界シェア3割となり、計測、制御分野でおおいに使用されるようになってきているが具体的に計測、制御を体験できる教材が極めて少なく、且つグラフィック型言語を用いることになり、C言語を中心としたプログラミング言語とは異なり、初心者でも作成しやすく間違い気づくやすい計測、制御教材が提供可能となるからです。

「LabView」はF1レーサーのレース中にマシンの状態の情報収集をはじめ、工場のラインの計測コントロールなど、広く産業界で使用されています。

「LabView」にあらかじめセンサーの箇所ごとに指示を与えるプログラム組み減速と加速をどの箇所でするのか、ポイントの切り替えをどのようにするかといった命令を与えました。車で10秒停車して減速と加速する自動運転に成功しました。そしてこのシステムにはカメラ付き車両を利用して不審物があるかないかの判断を含めた見回り、防犯カメラの代用品としての利用方法を考える予定です。このシステムは単なる計測制御用の教材としてではなくセキュリティ用品として開発したいと思っています。

私の家族は両親と妹です。お父さんは測量会社をやっております。お母さんもその仕事を手伝いながら家の仕事をしています。日本に来るのに思った以上の金額が必要になり、お父さんの給料と比べれば考えられなかった。でもお父さんが僕の為にその金額を用意してくれてお父さんにはとても感謝しています。

私は米山奨学生になって、とてもすてきな出会いと自分を成功させるためにいろいろなアドバイスを頂いている茅ヶ崎湘南ロータリークラブの皆さんに感謝しています。そしてこの機会を与えてくれて私の生活を楽にしてくださいました皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。私は今、皆さんから頂いている金額で学費を払っております。それが私にとっては有難いことです。もしそのお金がもらえなかったらその分はアルバイトしなければなりません。今その時間が皆さんのおかげで勉学に励める事が出来ました。心から感謝しています。

日本で毎日テクノロジーが進化していきます。それは私にはいいきっかけになると思っています。だから、まだまだ日本で頑張っていきたいです。そのために私の学校は私に道をあけてくれるはずですよ。将来楽しみです。